

1. 補助事業名

特別電源所在県科学技術振興事業補助事業

2. 補助事業の事業主体

福井県

3. 補助事業の実施場所

福井県衛生環境研究センター	(福井市原目町39-4)
福井県工業技術センター	(福井市川合鷺塚町61字北稲田10)
福井県食品加工研究所	(坂井市丸岡町坪ノ内1-1-1)
福井県農業試験場	(福井市寮町辺操52-21)
福井県畜産試験場	(坂井市三国町平山68-34)
福井県水産試験場	(敦賀市浦底23-1)
福井県総合グリーンセンター	(坂井市丸岡町楽間15)
福井県建設技術研究センター	(福井市春日3丁目303)
福井県若狭湾エネルギー研究センター	(敦賀市長谷64-52-1)

4. 補助事業の概要

福井県の科学技術振興に資する研究開発や研究基盤の整備を図ることを目的に、公設試験研究機関の研究を推進するために必要な機器の整備・維持および試験研究事業を実施した。平成28年度は整備事業として26事業、試験研究事業として55事業を実施。

5. 補助事業に要した経費及び補助金充当額

イ 補助金事業に要した経費	670,529,428円
ロ 補助金充当額	661,423,580円

6. 補助事業の成果及び評価

本補助事業により、県内公設試験研究機関等が実施する科学技術の振興に資する研究に必要な機器の整備・維持および試験研究を効果的に推進することができ、特別電源が所在する地域を含む県内全域の科学技術の振興に大きく貢献することができた。

具体的には、本補助事業の成果として、若狭湾エネルギー研究センターにおいて、金属以外のコンクリートや壁面塗料、原子炉構造物の錆などに対する除染試験を行い、レーザー除染技術の向上を図るためにCO₂レーザー加工機を整備するとともに、加速器を用いたイオンビーム育種技術を利用し、イシクラゲを用いた有用物質の生産や、真菌類を用いた免疫賦活剤の開発に関する研究のほか、金属めっきの密着性向上に関する研究等を実施し、事業の成果として企業3社（県内2社、県外1社）との共同研究を実施し、機能性食品への展開や電子部品の基板技術への展開に向けた取組みを行うなど、本県の科学技術の振興に大きく寄与した。

また、工業技術センターにおいて、「定置型蓄電システム用超高速回転CFRPフライホイール」事業では本県の優位技術である開繊技術を活用した高精度薄層形成技術ならびに円盤状成形体の成形技術の開発を行い、「楕形電極（IDA）センサの研究開発」事業ではインフラ整備のモニタリング等で活用できる楕形電極の腐食センサ技術の試作開発を行うなど、これらの技術蓄積や知見を活かして、地域企業への技術指導、口頭発表や地域企業との共同研究等による成果公表、技術移転（製品化）に努め、研究開発した技術について地域産業での活用が期待でき、科学技術の振興に寄与することができた。

なお、県内各公設試験研究機関において、それぞれ研究課題評価を実施している。工業技術センターでは本補助事業を活用した試験研究も含め、当該施設で実施している研究課題すべてについて毎年度研究課題評価を行っている。この評価は、当該施設の研究開発事業が県民や産業界等の社会的、経済的ニーズや政策的ニーズに対応しているか等について評価を行っている。平成28年度は、いずれの試験研究についても県の産業の振興発展に寄与する注力すべき課題であり、研究開発は効率的かつ効果的に実施されているとともに、特許申請や研究成果の産業界への技術移転も積極的に行われていると評価された。